

オホーツク「木」のフェスティバルに参加

オホーツク管内で最大の「木」に関するイベントである『オホーツク「木」のフェスティバル』に参加しました。

今年のテーマは、「もの作りから、希望ある未来へ」ということで、5月17～19日まで北見市のサンライフ北見等で開催されました。3日間の入場者数は3万7千人で、昨年よりは寒さや他のイベントも重なるなどで、少なくなっていますが、それでもたくさんの来場者がいらっしゃいました。



常呂川森林ふれあい推進センターも北海道森林管理局のブースに、北見事務所や知床森林生態系保全センターとともに、様々な取り組みなどをPRしたパネル展示を行いました。

また、展示期間中は森林ボランティア「オホーツクの会」の会員や日本赤十字北海道看護大学の学生のお手伝いをいただき、タネの模型づくりやバードコール作り、竹とんぼ作りなどを行っていただき、たくさんの親子連れなどが集まり大好評でした。この場をお借りして御礼申し上げます。

今回のイベントテーマに沿った将来を担う子ども達「木」にふれあうよい機会になったと感じました。



ラワンのタネの模型づくりを体験



竹とんぼづくりを体験

まだ、「オホーツクの森」には残雪が残っており、オホーツク地域では低温が続いていますが、常呂川森林ふれあい推進センターでは今後、様々な行事等を行いますので、一般公募の行事にはぜひ応募していただき、森林の効用を全身で受けてほしいと思います。